

討 論

請願第24-1号
東海第2原子力発電所の再稼働を認めず、廃炉を求める意見書
提出を求める請願書

請願に賛成

日本共産党
大名美恵子 議員
生命を生み、育て、守ることをスローガン

にする請願団体の、原発の過酷事故を繰り返させないとの願いはあまりに自然なこと。審査した原特委は、独自性の発揮および原発立地自治体の議会として周辺自治体への影響を考慮する観点がないまま審査を打ち切った。不十分な審査結果に反対し、請願に賛成する。

この請願を貫いている趣旨は、何よりも福島原発事故がもたらしている事態―放射能汚染と放射線被ばくはとてつもない影響を人間と社会に与えるということ、そして時日がたつにつれて国家による「棄民」という事態が進むということ―にしっかりと立脚し、東海第二原発でも起こり得るという事を念頭にそ

の再稼働を認めず廃炉を求めたものである。請願第24-3号
日本原子力発電東海第2原発の再稼働中止を求める意見書採択についての請願書

請願に賛成

日本共産党
川崎 篤子 議員
本請願の趣旨にそつ

た十分な審査を行うべきであり、採決の時期に達していないと判断する。「原発は、人間が制御できないもの、事故が起これば生存権、幸福追求権などの基本的人権が侵害され、罪深いもの」とし、東海第2原発の再稼働を認めないよう国および県へ意見書提出を求めたものであり、委員長報告に反対し、請願

に賛成である。光風会
恵利 いつ 議員
原子力問題調査特別委員会東海第二原発や福島の被災地へ出向くなどの視察は行っておらず調査が不十分。意見をほとんど述べない委員もいて議論を深めるには至っていないと考える。また、意見聴取会、公募等に寄せられたご意見

(1,657人)の約3分の2が再稼働に反対を望む声であったことを勘案すると本請願を不採択とすべきではないと考える。

日本共産党

大名美恵子 議員

原発の過酷事故により、多くの人が苦しんでいる今、国民にとり「安全な原発」ということは通用しない。また、震度6弱の地震にあった老朽化した東海第2原発の再稼働は、新たな被ばく者をつくることにつながる。未来を担う子どもたちに安心と希望を保障するため

再稼働せず廃炉に。請願趣旨に賛成し不十分な審査結果に反対。

川崎 篤子 議員
本請願は、福島原発事故により「安全神話」の崩壊を述べつつも「原発は最も有効なエネルギー供給源」としている。東海村は危機一髪で免れたから良いとするような考えに留まっていけないか。安全・安心の原発はあり得るのか。請願は再稼働が前提であり、日本共産党は核燃料サイクル

ルの研究は中止すべきとする立場から、請願には反対である。

東海村税条例の一部を改正する条例

日本共産党

大名美恵子 議員

反対討論

「改正」。平成23年度決算に基づく対象者は約18,000人、年間約900万円の徴収を見込み、実施期間は平成26年度から10年間とされる。震災復興は「復興税」で賄うべき。「復興財源」というのなら低所得者や被災地住民に課さない応能負担にすべきである。

請願に反対

日本共産党

請願第24-5号
東海第二発電所並びに原子力施設の安全性向上に関する意見書提出を求める請願書

源確保のため個人住民税均等割を引き上げる

請願に賛成

請願第24-4号
「東海第2原発の廃炉を求める意見書」採択を求める請願書

と希望を保障するため